



ひょうご人権ジャーナル

KIZUNA

きずな

特集“男女共同参画”

自分らしく 輝く

INDEX

- 2 女子プロ野球を通して
～優しく、強く、輝き続ける～
旋 美穂子さん(女子プロ野球チーム 兵庫ディオオーネ 球団代表兼監督)
- 3 男女共同参画社会と子育て・子育て支援
～ダイバーシティに注目しながら～
勝木 洋子さん(神戸親和女子大学発達教育学部 教授)
- 4 ドメスティック・バイオレンスを
防止するために
伊田 広行さん(立命館大学・神戸大学 非常勤講師)
- 5 シングルマザーと子どもたちの支援
赤石 千衣子さん(NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーむ 理事長)
- 6 ハンセン病を正しく理解し、偏見や差別
をなくすために
(人権フォーラム2017in兵庫 ハンセン病問題に関するシンポジウム)
- 7 ふれあいサロン
- 8 情報ぷらざ



兵庫県では「ひょうご男女いきいきプラン2020」に沿って、男女がともに、いつでも、どこでも、いきいきと生活できる男女共同参画社会をめざした取り組みを進めています。

本号では、男女が互いに支え合いながら、それぞれの個性と能力を発揮し、誰もが健やかに安心して暮らせる社会について考えてみましょう。

この人に
聞く!

女子プロ野球を通して
優しく、強く、輝き続ける

女子プロ野球チーム
兵庫デIONE 球団代表兼監督

碓美穂子さん

Profile

1987(昭和62)年東京生まれ。埼玉栄高等学校在学中、女子硬式野球部に所属。卒業後、侍、ドリームス、ハニーズ、レイア等の球団で捕手として活躍。2015(平成27)年から兵庫デIONE監督。
URL <http://www.hyogo-dione.com>

淡路島を拠点に活躍を続ける女子プロ野球チーム「兵庫デIONE」。監督の碓さんは、チームや女子プロ野球の発展、地域貢献活動に積極的に取り組まれています。

女子プロ野球の魅力を教えてください

女子が本気で野球をしている姿や、一つのアウト、1点を繋いで取る野球をするところです。繋ぐ野球はチームワークが非常に重要で、観て

野球を始めたきっかけは

松坂大輔選手(現福岡ソフトバンクホークス)に憧れて、私もボールを投げたいと思ったのがきっかけです。小学校6年生から始めました。

女子プロ野球を続けるうえでの

ご苦労や課題はありましたか

女子が野球をする事があまり理解されていない頃は、野球チームでもひとりばっちな感覚がありました。女子だから下手、女子だから野球は出来ない、野球は男子のスポーツという偏見もあったと思います。しかし、私はその偏見を変えて、女子でも野球は出来るという事を証明したくて、毎日練習に励んでいました。

応援などを通じた地域との

つながりについて教えてください

淡路島に拠点を置き3年目になります。少年・少女野球チームへの定期指導や地域スポーツ行事、小学校行事等

への参加など、老若男女問わず、共に体を動かしながら地域の方々と交流しました。右も左も分からない地でのスタートで、手探りでしたがコミュニケーションを大切にすることでたくさんの方にデIONEを覚えて頂いたと実感しています。

子どもたちへメッセージを

野球というスポーツは、『人間力』が大いに関係すると思います。

応援して下さる方やチームメイトを思う気持ちは自分自身に妥協しない強さに繋がります。妥協しない気持ちは、練習や試合に必ず生きてきます。まずは心を育て、技術を伸ばしていく事で可能性がどんどん広がっていくと思いがながら選手にも指導をしています。

今後の活動の抱負について

4球団で構成される女子プロ野球は8年目のシーズンに入り、確実に発展していると感じています。

しかし、認知度が低かったり、女子が野球をする場所が無かったりまだまだ課題は山積みです。私たちのプレーや、地域貢献活動を通して、女子が野球をする事を諦めないでよい環境にしていく事が私たちの使命だと思います。



男女共同参画社会と子育て・子育て支援 ～ダイバーシティに注目しながら～

神戸親和女子大学発達教育学部教授

勝木 洋子 さん

未来を想像してみましょう

人口、子どもの数、就労人口、高齢者、収入、年金など社会の動向を示すデータの内、高齢者以外はほとんど減少社会です。1990年代半ば、共働き世帯数が片働き世帯数を抜きました。その後も共働き世帯数は増加を続け、片働き世帯数との差は拡大傾向にあります。安定した雇用や生涯賃金なども2008(平成20)年に始まったリーマンショック以降減少しています。また同じ頃に若年勤労単身世帯可処分所得は、女性が男性を初めて上回りました^{※1}。ですから、男性の経済的自立(大黒柱として)と女性の生活自立(家事・育児・介護)など、男女を巡るこれまでの固定観念は変化している現状がわかります。

多様な個を大切に

(みんなちがってみんないい)

私は孫の2歳の誕生日祝いにまま

ごと道具を考えました。それは家事ができ、行儀作法も身につけ、自立することができるように、また将来家庭を持つときのためにと考えたからです。彼は、父親と一緒にそのままごとの焼きそばや野菜炒めを作ってくれています。

性別、身体的能力、特徴、年齢、人種、国籍、宗教、障害・疾病、価値観、ライフスタイル、働き方など、それぞれの個を重視することを「ダイバーシティ」といいます。誰もが自己実現をめざしながら、次代の子育てにやさしい社会を考えていきたいと思えます。



女性が働くことは社会を変える

女子大で働く幸せを感じている

教員の一人として、学生には「女性が働くことは自分自身のリスクマネージメント。白馬に乗った王子様はいないし、結婚では食べられない」、「社会の活性化は女性にかかっている」、「収入があることは意志決定権と自己実現が手に入る」、そして「何よりも女性が働くことが『男性の自立』につながる」と伝えています。「女性活躍推進法^{※2}」ができましたが「女性の活躍促進」は、女性だけでなく男性も含めたすべての人に関わる問題です。

みんなが生き生きと輝き活躍できる社会へ

子育てに関わる役割が母親一人に押しつけられるのではなく、安心して子どもを産み育てられる社会であるよう心から願っています。ワークライフバランスの推進、経済的・社会的・政治的サポート体制の充実も必要です。次世代を担う子

どもたちが自分らしく健康に生きていけるよう、世の中の「男女」という「すりこみ」や「思い込み」に気づく機会や、「あなたはあるのままでいい」、「自分らしく」、「自分を大切に」と伝えていきたいと思っています。すべての人がこのような社会づくりに向けて行動する時代です。

※1総務省「全国消費実態調査」2014(平成26)年による。
※2女性の職業生活における活躍の推進に関する法律「2015(平成27)年8月28日成立、9月4日公布・施行(一部翌年4月1日施行)。10年間の時限立法による。

Profile

兵庫県篠山市生まれ、神戸市在住。神戸大学大学院修士課程修了。兵庫県立大学環境人間学部、神戸松蔭女子学院大学人間科学部を経て現職。附属親和幼稚園園長を兼務。神戸市をはじめ、県内の多くの市の男女共同参画条例や男女共同参画計画プラン策定に参加。神戸市男女共同参画審議会会長、尼崎市女性センターテレビ運営委員長。



ドメスティック・バイオレンスを 防止するために

立命館大学・神戸大学 非常勤講師

伊田 広行 さん
い だ ひろ ゆき

身体暴力以外のDVもあると伝える

私は大阪市内でDV加害者プログラム(NOVO)を開催しています。ここには「妻が出ていった。自分がDVのようなことを少ししたとは思いう」というような人が駆け込んできます。反省の気持ちを持つているからこそ連絡してくるのですが、多くの人はDVのことを正しく学んでいないので、「殴る、蹴るなどの身体暴力」だけをDVと思っています。

そうした人に、まず最初の面談で、「DVは身体暴力だけでなく、共感しない、相手に自分の価値観を押し付けるようなかわりも、支配(コントロール)という意味でDVなんですよ」と伝えます。またグレーゾーンの図を見せながら、DVには強弱の程度があり、法律で認定されるDVだけでなく、そこまではひどくないけれど相手を支配して、相手の「安全、自信、自由、成長」を邪魔するという点で共通性がある「程度の弱いDVもあります」という話もします。

だから「あなたがしたことは間違はなくDVですよ」と言います。

暴力的対応を選択したのはあなたの責任

そしてさらに、相手がどうであろうと、その相手の言動に対して非暴力的な対応をとることも出来たのに、あなたは暴力的な対応を選択したのだから、その選択をしたという点で100%あなたの問題なんですよという事を理解してもらいます。「妻がどうこう」が問題ではなく、自分がいかに怒らずに、相手を尊重して非暴力的に対応できる人間になれるかの問題だと指摘します。

加害者が変わるためのプログラム

そしてそのためには、NOVOのようなところへ、1年間通い続けるという「自分を変える環境に身を置くことが重要です」と伝えます。

今の社会にはDV関係になっている



カップルが多く存在します。被害者の支援に加えて、「若者へのデートDV予防教育」や「加害者への更生プログラム」を行っていき、被害者に「加害者プログラムに通わないなら別居/離婚する」と言える選択肢を増やすことが必要です。加害者が本心に心を入れ替えてDVをしない人になるかならないかは、口先ではなく行動で見えていかないといいけません。加害者プログラムの意義のひとつはそこにあります。

みなさんの周りでDVらしきものがあるときには、加害者プログラムも使っていく対応があることを知っていただきたいと思っています。

Profile

1958(昭和33)年生まれ。大阪市立大学経済学部卒業。同大学大学院後期博士課程修了。現在、立命館大学、神戸大学非常勤講師。専攻は、社会政策論、ジェンダー論。大学でジェンダー論を担当するかたわら、大阪でDV加害者プログラム(NOVO)を運営実施。全国各地でDV/デートDV防止教育をしている。著書は『デートDV・ストーカー対策のネクストステージ 被害者支援/加害者対応のコツとポイント』(解放出版社)など。
URL <https://novohibouryoku.jimdo.com>

ひょうご性被害ケアセンター「よりそい」

ひょうご性被害ケアセンター「よりそい」は、性暴力被害者の心身の負担軽減、被害の潜在化を防止するため、専用窓口を設け、医療費助成、医療機関への同行支援、法律相談、心のケアを一体的に行うために活動しています。

ひとりで悩まずに、お気軽にお問い合わせください。

◎専用相談窓口

性暴力被害者が相談しやすく、医療支援等、被害者のニーズに応じた適切な支援につなぐための専用相談窓口電話を設置

○電話番号 078(367)7874(ナヤマナシ)

○開設時間 10:00~16:00

※週5日月・火・水・金・土(祝日、年末年始は開設なし)

シングルマザーと子どもたちの支援

NPO法人
しんぐるまざあず・ふぉーらむ 理事長

あか いし ち え こ
赤石 千衣子 さん

私たちの活動

しんぐるまざあず・ふぉーらむは東京にある小さなNPO法人で、シングルマザーの当事者団体であり、支援団体です。

電話相談やグループ相談会、季節のイベントなどとともに、フードバンク※事業と連携した食料支援を行ってきました。そして、今年は入学お祝い事業、さらに、シングルマザーのキャリア支援プログラムを実施しています。事務所には、DV被害から逃れたばかりの方が緊急に求められることもあり、フードバンクへの紹介状を発行しています。

シングルマザーにチャンス

昨年からは、化粧品会社日本口レアル株式会社と連携したシングルマザーキャリア支援プログラム「未来への扉」を開いています。隔週日曜日の5か月間のプログラム



(コミュニケーション講座、身だしなみ講座、ビジネスマナー講座、採用面接の受け方、パソコン講座等)を受けていただき、修了後は、日本口レアルの美容部員や、人材派遣会社

アデコ株式会社のスーパーバイザー職という正社員採用のチャンスがあるという点がこれまでになり特徴です。講座はすべて託児サービス付きです。

30人の受講生が、ポジティブにキレイになり、コミュニケーション力を身に付けていくのは本当に感動的です。

今までシングルマザーは、パート就労から始め、なかなか正社員になるチャンスに恵まれなかったわけです。力のあるシングルマザーたちに本来の力を発揮してもらおうと、そして、プログラムを通じて自分の力を伸ばしてもらおうとしています。

ひとり親家庭を支える

一方、入学お祝い事業では、なかなか入学準備のできないひとり親とその子どもたちのために、お祝い

3万円ずつを渡すという事業で、当初の予定200人を大幅に上回る562人から申込みがあり、今回は365人の子どもたちに渡しました。

子どもの貧困が問題になっていますが、その原因は、女性が貧困だからです。女性を勇気づけていくこと、そして社会の仕組みを変えていくこと、その両輪が必要です。

※食品企業の製造工程で発生する規格外品などを引き取り、福祉施設等へ無料で提供する団体・活動のこと

Profile

非婚のシングルマザー。現在NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長。シングルマザーと子どもたちが生き生き暮らせる社会をめざして活動中。厚生労働省社会保障審議会児童部会「ひとり親家庭の支援施策の在り方に関する専門委員会」参加人。社会福祉士。著書に『ひとり親家庭』(岩波新書)、編著に『シングルマザー365日サポートブック』など。

URL <http://www.Single-mama.com/>



きずな TOPIC

ハンセン病
元患者の人権

ハンセン病を正しく理解し、 偏見や差別をなくすために

(人権フォーラム2017in兵庫 ハンセン病問題に関するシンポジウム)

ハンセン病を知る

ハンセン病とは、「らい菌」に感染することで起こる病気です。感染すると末梢神経や皮膚に病変が生じますが、感染力は弱く、感染しても、発病することは稀で、国内でも数例のみです。

1943(昭和18)年、米国で「プロミン」という薬がハンセン病治療に大変有効であることが確認され、現在では容易に治癒する病気となっています。

人権侵害の歴史

かつて、ハンセン病はコレラやペストと同じような恐ろしい伝染病であると考えられていました。日本においては、1931(昭和6)年に、すべての患者の隔離をめざした「癩予防法」が成立し、国の方針のもと、各県では「無癩県運動」が進められ、患者が療養所に強制隔離されました。このような施策が人々の心の中に、ハンセン病は恐ろしいというイメージを植え付け、それが偏見や差別を助長していきました。

差別の現実

療養所では、家族と一緒に暮らせない、一生療養所から出ることができない、実名を名乗ることができないといった、人権を奪われた生活を送らなければなりません。また、その家族や親せきも地域で疎外され、結婚や就職を拒まれたり、引越越しを余儀なくされ

たりするなどの偏見・差別を受けました。

癩予防法が廃止され、国の隔離政策が終わったのは、つい最近の1996(平成8)年。その後も積み重ねられた偏見・差別の解消は難しく、ハンセン病元患者やその家族は今も苦しんでおられます。

療養所で生活されている方々は、後遺症や平均80歳を超える年齢のため、療養所を離れて生活することは難しい状況にあります。戸籍や郷里を捨てたために、肉親との再会や郷里を果たせない方も多くおられます。

偏見と差別をなくすために

去る2月4日には、国と県が主催する「人権フォーラム2017 in 兵庫 ハンセン病問題に関するシンポジウム」が神戸文化ホールで開かれました。

パネルディスカッションでは、元患者や支援者らが「この問題に向き合い、あらゆる差別をなくすことにつなげてほしい」と訴えました。

沖繩の高校生らによる、ハンセン病とHIVの感染をテーマにした演劇「光の扉を開けて」は、偏見・差別に苦しんだハンセン病元患者の心情を伝えるものでした。参加者は過去の過ちを繰り返さないこと、正しい認識をもつことを胸に刻みました。

演劇についてのお問い合わせ先

HIV人権ネットワーク沖繩
〒903-0826
沖繩県那覇市首里寒川町2-53
TEL 090-1941-4012
理事長 比嘉 正央
E-mail masanaka2@goo.jp
URL <http://www.hiv-net.com>



きずな図書館

「どんな時でも
人は笑顔になれる」

著者/渡辺和子 発行所/株式会社PHP研究所



本書は、その生涯を教育に捧げて昨年12月に死去された元ノートルダム清心学園理事長、渡辺和子先生の遺作です。渡辺先生は、18歳で母親の反対を押し切って洗礼を受けてから、「人生をどのように生きるか」「人を育てるとはどのようなことか」「人の使命とは何か」を自問自答しながら、多くの学生や悩みをもつ人々と向き合ってきた。

渡辺先生は、「置かれた場所で咲きなさい」の言葉が有名ですが、本書の最後でも、人間一人ひとりを花に喩えています。花は、自分だけの花を必死に咲かせます。人も花のように笑顔で生き、周りの人も幸せにすることが使命だと綴られています。

長きにわたり、「心」と「愛」を多くの人に注いだ著者の言葉で、読み終わったときに、「私は私でいい」と、温かく優しい気持ちになれる一冊です。

投稿&クロスワードで オリジナル 「フリクション蛍光ペン」を プレゼント!



問 A~Iの文字を順番に並べると、
何という言葉になるでしょう?

1			2		3	4
		5			6	
7			8			
			9	10		
	11					
12			13		14	
15				16		

タテのカギ

- 1 政策や事業などの計画に加わることを「○○○○」と言います
- 2 世間一般の通念や評価、あるいはだいたい妥当とされる金額
「世間の○○○に合わせる」
- 3 考え、話などの筋道が整った「○○整然」とした話し方
- 4 ○○○○なく物が言える間柄というのはとてもありがたいことです
- 5 緊急非常用の直通電話。県では電話相談「悩みの○○○○○○」を開設しています
- 8 明石を代表する海の幸です
- 10 ジョージ・ワシントンはアメリカの○○○○大統領です
- 11 自分の側に立って力を貸してくれる人
- 12 失敗を人の○○にするのは感心しません
- 14 若くて柔軟性に富むうちに鍛えられるべきとの考えを
「○○は熱いうちに打て」と表現します

ヨコのカギ

- 1 簡単にあきらめて「○○を投げる」ことはしたくありません
- 2 ワインに関する専門知識を持って活躍している人
- 5 憲法で定められている「○○の下の平等」
- 6 「○○より証拠」
- 7 ハナショウブに似たアヤメ科の植物。「いずれアヤメか○○○○○」
- 9 昔の書物。特に価値のある古本をさして言うことが多い
- 11 過去・現在に続く時。「○○○にはばたく」
- 12 国内だけでなくとどまらず、○○○を舞台に活躍してほしい
- 13 野外で行う茶の湯
- 15 主流には属さず、特異な存在として注目を集めている人
- 16 同じであること。「心を○○にして困難に立ち向かう」

4月号の答え

マンカイノサクラ

読者からのお便り~4月号を読んで~

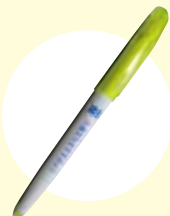
自分を大切にこそ、他人も大切にできると言いますが、今の社会は比較や競争で優劣を感じ、なかなか自分があるがままに受け入れにくいと思います。しかし、命があるだけで尊いと、自分も他人も尊重したいものと思います。
(加古川市 穴田 敏子さん)

常にまわりの目を気にする現代社会にあって、「なぜこぜの社会」は個を大切に社会になると思っています。いろいろな人がいる、多様な人を認め合う社会環境のなかで、人々はつながっていくと考えます。
(小野市 石井 喜晴さん)

人間の生きている価値を何で決めるのか、生き方や生き様、人の役に立っているか等、とらえ方は様々であると思う。歴史が示すように、後世の人がそれを決める場合がある。少なくとも、人の生き方に答えはないと思う。誰でもが自分の思ったとおりには生きられないが、幸せに生きる方法は必ずあると信じたい。
(たつの市 天本 雅剛さん)

「読者からのお便り」の投稿掲載者(平成29年8月号)とクロスワードの正解者(抽選で10名)に、「オリジナルフリクション蛍光ペン」をプレゼント。本誌「きずな」へのご意見やご感想、人々とのふれあいを通じた心温まるエピソードなどを募集しています。どしどしご投稿、ご応募ください。

※投稿はペンネームの使用も可能です。
※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



応募方法

はがき、FAX、メールで受け付け。クロスワードの答え、郵便番号・住所、名前(ペンネームを使用の場合も要併記)、電話番号、年齢、職業、本誌へのご意見・ご感想を明記の上、ご応募ください。

締め切り

7月3日(月)締め切り(必着)

応募先

〒650-0003
神戸市中央区山本通4-22-15
県立のじぎく会館内
(公財)兵庫県人権啓発協会
「きずな」ふれあいサロン係
TEL 078(242)5355
FAX 078(242)5360
Eメール info@hyogo-jinken.or.jp

※応募者および投稿者の個人情報は、管理を適切に行い、誌面づくり以外の目的には利用いたしません。



「のじぎく文芸賞」作品募集中 ～あなたの思いを作品に書いてみませんか～

- 募集部門** 小説・随想(手記、作文を含む)・詩・創作童話
- 応募条件** 兵庫県内に在住、在勤、在学の方
- 応募作品** インターネット上を含む未発表・未投稿の自作の作品
■詳細については、協会ホームページをご覧ください。お電話(下記 欄外参照)でお尋ねください。



【募集期間】 6月1日(木)から9月11日(月)まで(消印有効)

【応募方法】 郵送で受け付け

〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-15
 県立のじぎく会館内 (公財)兵庫県人権啓発協会「のじぎく文芸賞」係

EVENT GUIDE イベントガイド



イベント名 男女共同参画セミナー

日時 6月29日(木) 10:00～12:30、13:30～16:00

場所 兵庫県立男女共同参画センターセミナー室(神戸クリスタルタワー7階)
※「R」神戸」駅から、ハーバーランド方面へ徒歩約3分

内容 10:00～12:30

演題 男女共同参画概論

～男女がともにいつでもどこでもいきいきと～

講師 勝木 洋子さん(神戸親和女子大学発達教育学部教授)

13:30～16:00

演題 男女共同参画を可能にする家庭科教育

～女性のチャレンジを支える男性の家庭参画～

講師 小崎 恭弘さん(大阪教育大学教育学部准教授)

問い合わせ 兵庫県立男女共同参画センター・イーブン
 TEL 078(360)8550

※その他のイベント情報は、当協会ホームページ「研修会・イベント情報」をご覧ください。

ラジオ関西「谷五郎のこころにきくラジオ」(毎週月曜 10:00～15:00)で、
 14:35分頃から「きずな」の記事を紹介しています。

HALF TIME



昨年、「ひようご男女いきいきプラン2020」が策定され、男女がともに自分らしさを発揮していきいきと生活できる男女共同参画社会の実現に向けた取り組みが地域や職場で活発に進められています。私も今年度から「きずな」作成を担当することとなり、女性が能力を発揮して働くためには、職場の環境整備と周囲の同僚の支えが不可欠だと実感しています。

男女がいつでも、どこでも、いきいきと生活するためには、環境整備はもとより一人ひとりが男女共同参画の意識をもつことが何よりも大切であると思います。

これからも「きずな」を通して、誰もが互いを思いやり、支え合い、安心して過ごせる社会づくりに向けて発信していきたいと思っています。(西村)

